

片瀬地区の子どもたちの未来のために！

青少年健全育成会部会では、2022年12月1日に「子どもの防災」をテーマにした地域の子ども関係団体（7団体）との情報交換会を行いました。

防災士の宮本裕子氏と藤沢市危機管理課職員を講師に招き、片瀬地区で想定される災害のリスクなどをお話しをいただきました。その後グループワークを行い、子どもたちに防災知識を学んでもらうための手法など、3～4人の班

に分かれて話し合いました。令和5年度には各班から出た意見を取り入れた、防災に関する子ども事業を片瀬公民館と共催で実施する予定です。



2022年12月1日情報交換会

片瀬地区の歴史と文化にふれよう！



龍口寺五重塔

郷土文化推進部会では、2022年11月11日に片瀬公民館と共催の「片瀬歴史マップめぐり～名建築を巡ろう！～」を開催しました。片瀬の名建築ということで龍口寺、玉屋、カトリック片瀬教会を取り上げ、藤沢市学芸員案内の元、2022年3月に作成した片瀬歴史マップを使い、座学と現地見学の2部

制で実施しました。

また、藤沢市無形民俗文化財である「片瀬餅つき唄」や、伝統玩具の「片瀬こま」など、地域ゆかりの民俗文化財の継承活動を支援しています。

片瀬こま保存会では、8月に開催した片瀬こま大会をはじめ、数多くの活動が行われています。引き続き、片瀬こまの魅力を継承していきます。支援を続けていきます。



片瀬こま夏大会2022



まちづくり協議会の活動に関するご意見や、まちづくりに関する情報提供などがあれば積極的にお寄せください。また、毎月1回の全体会のほか、必要に応じて部会を開催しています。会議の傍聴など、ご関心のある方は事務局までお問い合わせください。

2022年度(令和4年度)片瀬・江の島まちづくり協議会(片瀬地区郷土づくり推進会議)役員・委員名簿

役職	氏名	選出母体等	氏名	選出母体等	氏名	選出母体等
会長	畠山 義昭	片瀬地区自治町内会連絡協議会	小原 美佐江	片瀬地区民生委員児童委員協議会	岡田 勝治	公募
副会長	甘粕 寿一	片瀬地区自主防災協議会	甘粕 勇二	片瀬地区防犯協会	山口 大助	公募
副会長	澁谷 晴子	片瀬地区社会福祉協議会	阪井 久江	片瀬-市民スポーツの会	甲斐 由美子	公募
副会長	三嶋 由見子	片瀬地区青少年育成協力会	岩田 克美	片瀬地区老人クラブ連合会	桐生 留美子	公募
副会長	徳江 紀子	片瀬地区青少年支援フォーラム	渡辺 英雄	江の島振興連絡協議会	福島 規恵	公募
	飯森 美智代	片瀬地区交通安全対策協議会	依藤 光雄	片瀬地区商店会	近藤 信行	公募
	吉見 美江	片瀬地区子ども会連絡会			保川 昌弘	公募
	藤原 恭子	片瀬地区生活環境協議会			西永 雄二	公募

片瀬・江の島まちづくり協議会

まちづくり通信

令和4年度 地区集会を開催しました！

～ 3年ぶりのグループトーク！
地域をつなぐ『回覧板』のあり方に多くの意見をいただきました ～



令和5年2月18日(土)に、片瀬市民センターホールで、会場・オンライン参加者18人とまちづくり協議会委員17人が参加し、『自分が必要な情報を得るために～「回覧」見てますか？～』をテーマとした地区集会を開催しました。

前半では、藤沢市デジタル推進室から市のデジタル化に向けた取組や、他地区の情報発信の

取組事例などの説明をいただき、後半では、参加者が5つの班に分かれ、「回覧」をテーマに意見交換を行いました。主な意見として、回覧の長所・短所、情報のニーズ、回覧を見てもらうための方法、情報の受取り方などがありました。(見開きページに掲載)

今回の集会で、片瀬地区の情報を得るために「回覧」は欠かせないものであることが再確認されるとともに、スマートフォンなどのデジタルツールを活用した情報発信をすることで、魅力ある情報を、たくさんの方に届けることが必要であることが分かりました。引き続き、協議会で議論を重ね、具体的な取組につなげていけるよう検討していきます。



藤沢市デジタル推進室の説明



グループトークで出た意見の紹介

「回覧」の長所、短所

- ・回覧板は高齢者の安否確認ができる。
- ・顔を合わせる、隣りとのコミュニケーション。
- ・回覧板を早く回さなければという思いが強く、あまり読まないで回す人も多い。
- ・回覧がとどまってしまう例が多い。
- ・地域情報が得られる。自治会の活性度がわかる。

より多くの人に「回覧」を“届ける”ためには

- ・内容を重視してほしい。
- ・まず町内会に入ってもらおう。
- ・ポータルサイトは自治会に加入していない人にも届けられる。
- ・情報がほしい人は自分で探す。
- ・防災など必要な情報は二次元コードの活用。
- ・ローカル行事は回覧を別にする。
- ・若い人はラインを使う。

どのような情報が必要？

- ・イベント情報、老人介護情報
- ・公演会情報、防犯情報
- ・参加すると何かもらえるようなイベント
- ・自治町内会の活動が確認できる情報

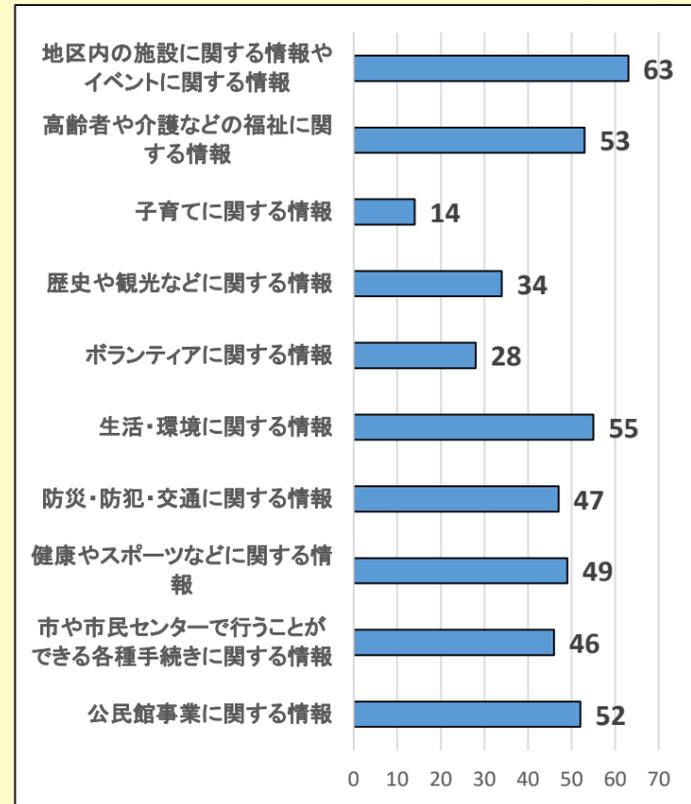
どのように受取りたい？

- ・デジタルだからこそつながる。
- ・災害時はアナログが必要。
- ・小さな情報は紙がいい。
- ・両方選択できる。回覧とは別にする。
- ・いろいろな情報があることは大事。回覧、デジタルも大事である。
- ・年代構成によって必要なものが違う。
- ・急速なデジタル化は良くない。

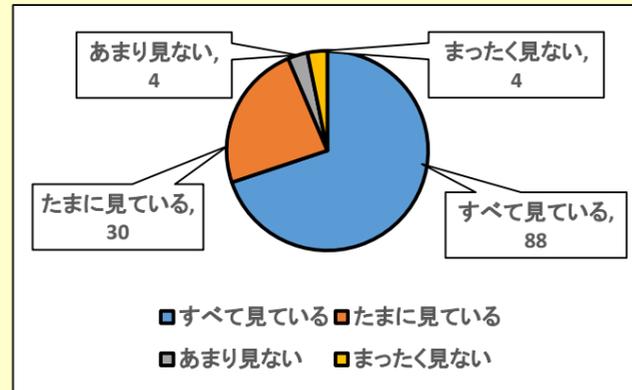
事前アンケートの結果

事前アンケートを電子・文書で実施し、126件の回答をいただきました。

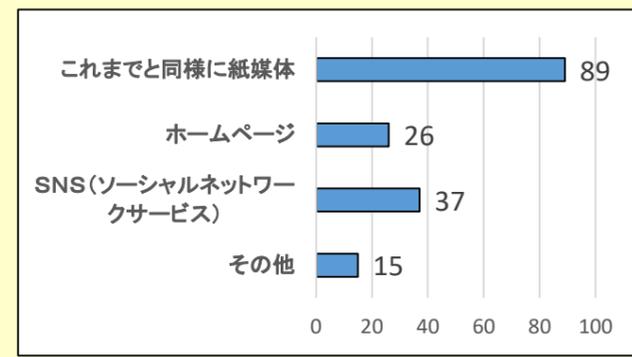
片瀬地区の情報で欲しい情報はどのような内容ですか
(複数回答)



地域回覧を見ていますか



地域回覧はどのような方法で見たいですか (複数回答)



片瀬地区内の様々な情報の基本は「回覧版」ですが、デジタル化が急速に進む中、多様な生活形態に対応するため、いつでも、どこでも、だれでも必要な情報を得られるよう、さらにデジタルを活用した魅力ある情報発信が求められています。



『広報ワーキンググループ』発足

たくさんの方に片瀬の魅力を発信したい！

片瀬地区の魅力を片瀬地区の皆さんに発信するため、『広報ワーキンググループ』を立ち上げました。令和4年度は見やすい「回覧」をテ



広報ワーキンググループ活動の様子

ーマに、回覧するチラシのレイアウトなど、各団体に提案できる検討を行っています。また、片瀬地区の地域団体の活動が一目でわかるインターネットサイト「片瀬地区ポータルサイト」の更新頻度の向上を図るための具体的な手法の検討を行っています。

令和5年度は、「片瀬地区ポータルサイト」の更新を進め、片瀬地区の情報を発信することで、たくさんの方に片瀬地区の魅力を発信ができるよう、取り組んでいきます。

「ひだまり片瀬」でコーヒーの提供をはじめました！

「居場所ひだまり」（片瀬地区ボランティアセンター）では、毎週水曜日に1杯100円のコーヒー「ひだまりカフェ」をはじめました。ドリップ式で丁寧に淹れたコーヒーを、散歩の合間や、ホッとしたいお茶の時間に飲みに行っちゃいませんか。地域のボランティアがお迎えます。お話をしたい方、1人の時間を読書などで過ごしたい方、どなたでも大歓迎！

水曜の午後は居場所のほかに、個室スペースにて専門家による高齢・困りごと・なんでも相談を行っています。こちらもお気軽にご利用ください。

この「のぼり旗」が目印です
住所 片瀬3-16-10



小学生の学習支援を行っています！

片瀬地区ボランティアセンターでは、「ひだまり教室」として、小学校3年生以上の児童を対象に、少人数制での学習支援事業を行っています。元教師のボランティアの方々が、宿題や苦手箇所の復習など、きめ細やかな学習支援を心がけてい

ます。「明日のテストの勉強ができた」「学校の雰囲気とは違って楽しい」などのお声もいただいています。募集は随時地域回覧で行っています。今後も継続していく予定です。

ボランティア活動を通じて片瀬地区を盛り上げよう！



人材・情報バンクセンター運営委員会（JJBC）では、だれでも気軽に参加ができる「地域活動見学&ボランティア体験会」を8月から9月にかけて開催し、ボランティア活動を始めるためのきっかけの場づくりを行いました。

安心・安全ステーションでの子どもたちの下校時間の見守り体験